

会 議 記 録

次のとおり会議記録を公表します。

会議名	第1回瀬戸・高松広域連携中枢都市圏推進委員会
開催日時	令和2年11月24日（火） 14時～15時
開催場所	Web開催 高松市役所 4階会議室
議 題	(1) 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの目標達成状況及び取組事業の評価（令和元年度分） (2) 令和2年度における新型コロナウイルス感染症の影響 (3) ふるさと納税に係る共通返礼品 (4) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	大西会長、井上副会長、三枝委員、松本委員、伊藤委員、糸井委員、井下委員、前田委員
傍聴者	0人（定員 若干名）
報道機関	0人
担当課及び連絡先	政策課（839-2135）

会議経過及び会議結果

会議の概要は、次のとおり

会長挨拶

委員紹介

【別添資料1により、事務局から紹介】

議題（1）瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの目標達成状況及び取組事業の評価（令和元年度分）

【別添資料2により、事務局から説明】

〔意見なし〕

議題（2）令和2年度における新型コロナウイルス感染症の影響

【別添資料3により、事務局から説明】

〔意見なし〕

議題（3）ふるさと納税に係る共通返礼品

【別添資料4により、事務局から説明】

会議経過及び会議結果

(会長)

この内容に至るまで、各市町の多大なる御協力があったことに、まず感謝を申しあげたい。ふるさと納税は12月が一番多くなる月なので、それに合わせて3市5町が協力してこのような形でやれるということは意義があり、たくさんの寄付を集められたらと思う。

(委員)

各市町には説明のあった産品以外にもいろいろな名産物があると思う。例えば、ハマチ三兄弟（ひけた鰯、なおしまハマチ、オリーブハマチ）に、讃岐さーもん等を加えた海産物セットというのも今後検討いただきたい。また、せっかく3つの返礼品セットができたので、各市町でも積極的に広報をお願いしたい。

議題（4）その他

【会長から委員に対して発言を促す】

(委員)

ふるさと納税に係る共通返礼品の観光プランについて、我々の町だけではこのような観光地巡りを企画するのは難しいので、こういう取組は大変有意義だと思う。

(委員)

私たちの町も、観光地としての資源が乏しい状況である。様々な地域とのつながりや一体化した観光資源を開発するという意味で、魅力ある観光地や体験型の旅程等を組むことに期待したい。

(委員)

1点目は、新型コロナウイルス感染症がある程度収束に向かった時は、3市5町で新たな取組ができればと思うので、皆さんの知恵を借りながら、もっと圏域が活性化するような取組ができればと思う。
2点目は、ふるさと納税に係る共通返礼品について、3市5町の連携をもっと密にしていき、返礼品の数を増やしてほしい。

(会長)

今後とも積極的な御提案をお願いしたい。

(委員)

ふるさと納税に係る共通返礼品について、いろいろな観光地を巡るだけでなく、体験プランといった返礼品も検討いただければと思う。

(委員)

先程の新型コロナウイルス感染症の影響についての説明があったが、まだまだAfterコロナには程遠い状況である。今後、連携事業においても大きく見直す時が来るのではないかと考える。
ふるさと納税に係る共通返礼品についてだが、観光プランに関しては、これまでに我々の市だけでも企画してきたが、どうしても市内だけでは収まりきらないところがあった。今後は広域にわたるいろいろなプラン

の検討をお願いしたい。

また、さぬき市は小豆島とも距離が近いので、アート島めぐり観光プランに、さぬき市や東かがわ市も含めていただくことも検討していただきたい。

(委員)

ふるさと納税に係る共通返礼品について、今後、ハマチ三兄弟を取入れた案も検討してもらいたい。

全般的な話として、以前からも話が出ていたと思うが、高松を起点とした航路以外に、島しょ部を結ぶ横のラインの航路についても検討していただきたい。

【会長から議会側の委員に対して発言を促す】

〔意見無し〕

(会長)

以上で、本日の会議を終了する。